

駿河台大学同窓会報

第5号

発行 駿河台大学同窓会事務局

〒357-8555 埼玉県飯能市阿須698

☎(0429)72-1101 ホームページ
http://www.sunugadai.ac.jp/dousou/index.html

平成15年度 同窓会総会実施報告

1 総会

去る5月10日(土)、平成15年度同窓会総会が新宿区百人町にありますホテル海洋(JR大久保駅徒歩1分)にて開催されました。昨年度から都内で開催していますが、交通の便で好評を頂いており今回も都内新宿区での開催となりました。

総会は役員副会長の廣瀬尚氏(平成5年、法学部卒)の司会のもと、竹下守夫学長より大学近況報告、富岡勇哉会長(平成4年、法学部卒)より、挨拶及び今後の運営方針についてのお話がありました。

議事では富岡会長が議長となり、平成14年度収支決算・監査報告、平成15年度事業計画及び予算案、新役員の選出等が審議されました。

出席いただいた会員からは、平成15年度事業計画における同窓会名簿の作成について、データ管理や販売のネット活用におけるセキュリティの問題等に関する意見や、経済的困難学生に対する貸与奨学金の新設についての提案がなされましたが、議案については異議なく承認されました。



2 懇親会

総会終了後は、別室のパーティールームにて懇親パーティーが開催され、会員及び教職員を含め約100名ほどの出席がありました。

懇親会では、森沢副会長(平成9年、法学部卒)の音頭で乾杯し、パーティーに入ると駿河台大学の歴史をたどったビデオ上映なども行われ、会員たちは駿河台大学で過ごした日々を懐かしみ、旧友や恩師と思い出話を花を咲かせていました。今後も卒業生相互の親睦を深めていくとともに、在学生及び母校への後援活動を積極的に行っていくという同窓会としての意義を確認し合い、廣瀬副会長(平成5年、法学部卒)の音頭による校歌斉唱をもって幕を閉じました。

出席者は昨年度より増えましたが、会員数が1万人を超えていることを考えますと、やや少ない出席であります。同窓会総会が会員同士の再会の場として定着していくことを期待しております。来年度は、平成16年5月8日(土)を予定しておりますので、総会の2次会としてサークルやゼミ等の同窓会を企画していただき、是非、皆さんお誘い合わせの上、総会への出席をお願いいたします。来年度の総会にはより多くの会員の出席をお待ちしております。

また、本誌記載の通り、駿輝祭開催に併せてホームカミングデーを開催します。当日は、駿輝祭の出し物だけではなく、講演会の開催も予定しておりますので、思い出の詰まった大学を訪れ、懐かしんではいかがでしょうか。ご来場をお待ちしております。



(事務局)

同窓会長あいさつ

会長 富岡 勇哉

本日はお忙しい所お集まり頂き有難うございます。同窓会長を務めさせて頂いております平成14年卒業、法学部2期生の富岡勇哉と申します。

先程、竹下学長からも法科大学院をなぞらえて「大学も変革期にある」というお話を頂戴致しました。駿河台大学同窓会につきましても、今まで12年ほど活動をやって参りまして、昨年度より若干ですが役員も交代し、新たな事業を実行していくという事となりました。昨年実施いたしました事業について、議事の中でご説明をさせて頂いたたく事になっております。

今年度、私が同窓会運営の基本的方針として考えている事の一つに、同窓会組織を作ったにもかかわらず、未だに同窓会名簿が出来ていないという事が挙げられます。名簿作成については、今年度いっばいをかけ、少なくとも、どの方向に進むのかと言う「作成の目処」を付ける事と、実際に名簿を作成していく過程で、会員皆様のご意見も取り入れ、「どのような形で作成して行けば良いのか」という事を議論して、同窓会名簿を基本的な組織母体の礎と位置づけて作成して参りたいと考えております。

昨年、丁度同じ時期にご挨拶をさせて頂いたのですが、昨年も様々な事がございました。経済不況やイラク戦争が始まったりと印象深い1年でした。これから進んで行く中でも、未だに雇用の回復、経済が復活しない、株価もバブル期以前の割戻りという状況が見えつつあります。その中で様々な問題が今後予期しない形で起ってくると思えます。一方で、その様な問題がある中でも、現在駿河台大学卒業生は既に1万人を超えておりますので、相互で連帯を取って進んで参りたいと申し上げました。今年度につきましては、その屋台骨となる名簿作成を念頭に、またその方向性を見極めて、それを基に皆様と今後一層の連帯を組んで進んでいく基礎としたいと考えております。

昨年、頻繁に構造改革が叫ばれております。皆様も、日々の生活の中で、毎日残業等なかなかお忙しいという方もいらっしゃる、生活がうまく立ち行かない、給料も上がらないという状況も有

ると思えます。私も、給料が減らされているという現実を直面し、この様な事がどんどん起こってきて、日々日常の生活を確保するだけでも、その大変さを実感致します。ただ、そういった現状を乗り越えていくためにも、様々な多くの方々のお力添えを頂く事が必要となって参ります。現下の様な混乱した中で皆が協力し、かつ自分も向上していく手段の一つとして「駿河台大学同窓会に帰る」というご認識をお持ち頂けるような組織にしたいと思っております。

卒業1期生が世に出るから13年が経ちました。同窓会には、各種会社やそれぞれの業界で中堅所と呼ばれるような方、あるいは個人で会社を開かれている方、多くのいろんな職種の方が会員として在籍されていらっしゃいます。先程、大学事務局の方にお話しをお伺いしたところ、最近は大卒の就職率が余り芳しくないというお話がございました。同窓会員の皆様にお呼びですが、現役の学生と接する場を設け、大学を盛り上げていきたいと思っておりますので、何卒宜しく御協力願います。

大変短いスピーチで恐縮ですが、今年度の同窓会運営の基本的方針を申し上げるという事で、私の挨拶と替えさせて頂きたいと思っております。ありがとうございました。

新役員あいさつ

中島 俊夫

はじめまして。法学部5期生の中島俊夫です。今年度より同窓会委員を務めさせて頂いたこと、理事となりました。卒業生の皆様事となりまして。卒業生の皆様との良き「憩いの場」を作れるようがんばりたいと思っております。よろしくお願いたします。

長嶋 亮吉

本年度より同窓会役員を拝命させて頂きました。平成7年度経済学部経営情報学科卒業、平成14年度文化情報学研究所科修了の長嶋亮吉と申します。現在、飯能市役所に勤務していることもあり、飯能の現在(いま)をお知らせするお手伝いをしたいと思います。



平成14年度同窓会収支決算報告書

(平成14年4月1日～平成15年3月31日)

駿河台大学同窓会

(収入の部) (増減△は超過を示す。単位：円)

勘定科目	14年度予算額	決算額	増減	備考
前年度繰越金	180,513,855	180,513,855	0	
会費	6,580,000	6,550,000	30,000	新規加入会員1,310名(新入生)
総会懇親会費	0	111,000	△111,000	総会懇親会参加費(3000円×37名分)
受取利息	100,000	142,730	△42,730	定期預金利息141,433円、普通預金利息1,297円
収入の部合計	187,193,855	187,317,585	△123,730	

(支出の部) (増減△は超過を示す。単位：円)

勘定科目	14年度予算額	決算額	増減	備考
事業費	8,300,000	6,060,306	2,239,694	
同窓会会報作成費	800,000	711,215	88,785	会報2・3号分、HP用PDF作成費等
大学への卒業寄付金	2,000,000	2,000,000	0	平成13年度、14年度卒業生分
ホームカミングデー懇親会費	500,000	380,000	120,000	
同窓会総会実施費	2,500,000	1,169,091	1,330,909	
地方支部会実施費	500,000	0	500,000	
同窓会奨学金	2,000,000	1,800,000	200,000	9名分
運営事務費	3,850,000	1,938,363	1,911,637	
郵送料	3,400,000	1,693,471	1,706,529	同窓会報郵送料等
印刷費	250,000	40,740	209,260	総会出欠葉書作成費、卒業生住所葉書作成費
雑費	200,000	204,152	△4,152	振込手数料、会長印作成費等
予備費	1,000,000	253,850	746,150	HP開設・維持管理費等
小計(当年度分計)	13,150,000	8,252,519	4,897,481	
次年度繰越金	174,043,855	179,065,066	△5,021,211	
支出の部合計	187,193,855	187,317,585	△123,730	

平成15年度収支予算

(平成15年4月1日～平成16年3月31日)

駿河台大学同窓会

(収入の部) (増減△は減を示す。単位：円)

勘定科目	15年度予算額	14年度予算額	増減	備考
前年度繰越金	179,065,066	180,513,855	△1,448,789	
会費	14,695,000	6,580,000	8,115,000	
受取利息	100,000	100,000	0	
収入の部合計	193,860,066	187,193,855	6,666,211	

(支出の部) (増減△は減を示す。単位：円)

勘定科目	15年度予算額	14年度予算額	増減	備考
事業費	21,300,000	8,300,000	13,000,000	
運営事務費	2,450,000	3,850,000	△1,400,000	
予備費	1,000,000	1,000,000	0	
小計	24,750,000	13,150,000	11,600,000	
次年度繰越金	169,110,066	174,043,855	△4,933,789	
支出の部合計	193,860,066	187,193,855	6,666,211	

「事業費」内訳

(増減△は減を示す。単位：円)

勘定科目	15年度予算額	14年度予算額	増減	14年度実績額	備考
同窓会会報作成費	900,000	800,000	100,000	711,215	年2回発行(450,000円×2)、会員数増のため増額
大学への卒業寄付金	1,000,000	2,000,000	△1,000,000	2,000,000	平成15年度卒業生分
ホームカミングデー実施費	1,000,000	500,000	500,000	380,000	前年度ホームカミングデー懇親会費として計上、講演会経費分を増額
同窓会総会実施費	1,500,000	2,500,000	△1,000,000	1,169,091	前年度実績から減額
地方支部会実施費	500,000	500,000	0	0	
同窓会奨学金	2,000,000	2,000,000	0	1,800,000	20万円×10名
ホームページ管理費	400,000	0	400,000	0	新規
同窓会名簿作成費	14,000,000	0	14,000,000	0	新規
計	21,300,000	8,300,000	13,000,000	6,060,306	

同窓会支出予算項目内訳明細表

「運営事務費」内訳

(増減△は減を示す。単位：円)

勘定科目	15年度予算額	14年度予算額	増減	14年度実績額	備考
郵送料	2,000,000	3,400,000	△1,400,000	1,693,471	実績からの減額、ただし送付物1回あたりの郵送料は会員数増のため増額。会報等2回(1,000,000×2回)
印刷費	250,000	250,000	0	40,740	封筒・住所届出ハガキ等の印刷
雑費	200,000	200,000	0	204,152	役員交通費等
計	2,450,000	3,850,000	△1,400,000	1,938,363	



卒業生は今

大室 一生

現在、私が行っている業務は主に営業です。旅行業界における営業とは多岐にわたりますが、私の行う営業は主として団体を対象とした営業です。団体営業とは、一般の法人や官公庁、学校などの教育団体等を対象とした営業であり、個人旅行とは形態が若干異なります。私は現在、一般的に「飛び込み営業」と呼ばれている、団体を絞らず自ら足を運んで旅行を売り込む仕事をしています。「飛び込み営業」と聞いただけで嫌なイメージを持つ方もいらっしゃると思いますが、「飛び込み営業」はこの業界の基本であり、JTBや近畿日本ツーリストなどの業界最大手でも行われています。以前は男性Ⅱ営業、女性Ⅱカウター業務といったイメージがありました。現在では営業ウーマンも少なくありません。

私が配属になったさいたま支店は、埼玉県全域を一つの支店で担当しているため、1人1人の仕事量は非常に多いです。主に私はさいたま新都心の官公庁をメインとした営業を行っておりますが、1年生の私でも北は大宮、南は川口・戸田までかなりの広範囲を担当しています。毎日何キロも歩き、時間的な拘束も長く、個人の予算もあるという体力的にも精神的にも厳しい毎日ですが、その分やり甲斐のある仕事でもあります。会社によっても異なりますが、私の会社は、自らが獲得したお客様に自らが作った旅行行程を説明し、納得して頂き、添乗員としてその旅行に同行するというように、最初から最後までを自分1人で行うことが多く、その仕事に対して責任感が持てます。そして、最終的にお客様からお礼のお言葉を頂いた時などは、毎日の辛さが吹き飛ぶくらいうれしさと充実感があります。

私は、文化情報学部文化情報学科出身であり、幾つか観光系の授業も履修しておりました。その時に学んだ数々の知識が現在の私にとって貴重な宝となっています。今後も「この業界で何をどうしたいか」という明確な目標と正しい知識・情報、自らに対するプライドを持って頑張っていきたいと思っております。

駿河台 スポーツニュース

■カヌー部

NHK杯でTV放映



5月11日(日)に群馬県水上町利根川カヌーコースで行われた第26回NHK杯全日本選抜カヌーシラローム競技大会で本学の学生が活躍した。K-1(カヤックシングル)では、昨年同大会9位の加藤哲平君(法律学科3年・私立中京高校出身)が出場し、予選を1位で通過する。昨年は予選で上位進出をしたが、決勝の終盤でミスをして、順位を下げただけに、今回の決勝は注目をされた。結果はノミミスの通過でタイムもベストの2位に入った。強い精神力と丁寧な操艇で、名実共に日本のトップクラスに成長した。C-1(カナディアンシングル)では、ナショナルチーム入りした野々宮賢治君(比較文化学科2年・徳島県立那賀高校出身)に期待がかかった。昨年のランキング1位で優勝候補であったが、調子が奮わず惜しくも3位に終わった。また、野々宮君の高校の後輩でもある犬伏善則君(経済学部1年)は5位に入った。なお、野々宮君は7月に行われるドイツ・アウグスブルグ世界大会への出場が決まった。(成績は、日本人選手としては最高の48位であった。)このNHK杯は毎年、上位者がTV中継され(NHK教育)、今年は加藤君と野々宮君の活躍が全国に放映された。本学の名を全国に広めたインパクトの高い大会となった。

■女子ホッケー部

全国4位(学生王座決定戦)

今春の関東学生ホッケーリーグ戦(1部)が終了し、女子ホッケー1部は4勝1敗で3期連続の2位となった。もはや2位が定位置のようだが、今季は18シーズン連続中の山梨学院大学と1点差で敗れた結果の2位であり、実力は伯仲している。ちなみに、1部昇格後の対山学大戦は0対8、0対4、0対3、そして今回の4対5と確実に追いつけており、念願の1部優勝は目前である。なお、関東2位になったことで、6月7日(土)・8日(日)に北海道江別市で行われた全日本大学王座決定戦(東日本代表第2代表決定予選会)に出場した。結果、東北・北信越代表の富士大学に4対0で勝利し、6月27日(金)・28日(土)に慶應義塾大学日吉ホッケー1場で行われる第22回全日本大学王座決定戦への出場を決めた。



この大会は東日本・西日本のトップレベルのチームと選手によって、水準の高い競技を展開し、より一層の競技力向上と強化をはかるために、29日(日)の大学東西対抗戦と併せて行われた。試合は東日本代表2チーム(山梨学院大学・本学)と西日本代表2チーム(天理大学・東海大学)がトーナメント方式で学生王座を競う。東日本第2代表の本学は27日(金)、西日本第1代表で昨年度優勝チームの天理大学と対戦した。結果は1対4(昨年は0対5)で敗退したが、大学王者から初得点を挙げる事ができた。28日(土)の3位決定戦は東日本第1代表の山梨学院大学と対戦し1対2(昨年は0対7)で惜敗。しかしながら、前日の対天理大戦と併せて見ると、この1年でチーム力が飛躍的に伸びてきていることが証明された大会になった。

■剣道部

全日本女子学生剣道選手権大会へ

去る5月17日(土)、日本武道館で行われた第35回関東女子学生剣道選手権大会(女子個人戦)に、剣道部より6名が出場し、米山智子さん(比較文化学科2年・私立東京成徳大学高校出身)が、5回戦へ進出した。これにより、6月29日(日)大阪府立体育会館で行われる第37回全日本女子学生剣道選手権大会への出場資格を得た。全日本大会へは残念ながら初戦敗退であったが、この大会へは92大学からの関東大会参加者424名中28名のみが出場資格を得る狭き門で、本学女子としては2000年の石川祐子さん(法律学科4年・私立文化女子大学附属杉並高校出身)に次いで2人目となる。昨年来山さんは3回戦で敗れており、その借りを返す事が出来た。剣道部としても前週に同じく日本武道館で行われた関東学生剣道選手権大会(男子個人戦)に7名出場するも、僅差で全日本への道が叶わなかっただけに、米山さんの全日本出場は常勝駿大剣道部の面目を保つことになった。また、全日本大会と同日同場所で行われる第50回全日本学生剣道東西対抗試合に、東軍代表として黒澤尚希君(法律学科4年・私立水戸学院高校出身)が選抜された。

■野球部

プレーオフの末2位

新東京大学連盟2部リーグに所属する野球部は7勝3敗で2位であった。リーグ戦中盤より、大生物資源学部が頭ひとつリードし、それを本学と東京都立大学が追う三つ巴の戦いとなった。そして、最終週に、都立大を8対1で突き放し、2位以上を確保。6月2日(月)に日大と7勝3敗同士でプレーオフとなった。先攻の日大が初回と8回に2点づつをとるが、それぞれの裏の攻撃で本学も1点、3点を取り、同点とする。試合はそのまま延長戦に突入。10回の表に日大にソロホームランを打たれ、その裏抑えられて惜敗した。残念な結果となったが、2部ではAクラスが指定席となっており、秋季リーグでのさらなる飛躍を期待したい。

その他のクラブ

■サッカー部
第17回埼玉県大学選手権大会
決勝リーグ4位

■陸上競技部
第82回関東学生陸上競技対抗選手権
兼ユニバーシアード大会代表選考会
近藤徹(法3)
400M 17位(学生ランク53位)
400ハードル 16位(学生ランク66位)

■弓道
第11回関東学生弓道選手権春季トーナメント大会
男子 12位 女子 16位

■テニス
第76回全日本学生テニス選手権大会
2次予選進出

◆米山さんの話◆



「昨年は大学入学後初の試合で大変緊張したので、何がなんだか分からないうちに負けてしまいました。今年は慣れたせいかな不思議と冷静でした。私の前で3人が敗退してしまい、男子からのいやな空気を引きずっていたので、何とかそれを断ち切りたいと思いました。結果として全日本に進むことが出来て凄く嬉しいです。」

久しぶりの母校を訪れよう!

～ 11月1日 ホームカミングデー開催のお知らせ～

皆さん、楽しい大学生活を送った母校を訪れてみてはいかがでしょうか。本年度も駿輝祭の開催に合わせて、11月1日(土)にホームカミングデーを実施します。ホームカミングデーでは、同窓会懇親会を行います。昨年度は、約200名の出席があり、大学時代の思い出に終始花を咲かせていました。本年度もぜひ、大学時代のお友達と連絡を取り合って出席してみたいと思います。また、ご家族連れも大歓迎です。駿輝祭では、お子様も楽しめるイベントも数多く開催されております。懐かしい風景・思い出が甦ってくるとおもいます。皆様の多数のご来場をお待ちしています。



昨年度の懇親会

◆ホームカミングデー懇親会

時間：15：00～16：30

場所：第2講義棟15階 レセプションルーム

会費：無料

◆ホームカミングデー講演会

ホームカミングデーには講演会を行う予定です。講演会等の詳細は10月中旬頃、同窓会ホームページでお知らせします。

一 大学事務局 からののお知らせ

卒業後の証明書申込について

◎最近、金額間違いのケースが見受けられます。申請の際は、今一度確認をお願いいたします。

《証明書の種類と手数料》

①卒業証明書 ②学業成績証明書

※ともに1通200円(英文証明書も同額)

その他の証明書を希望する場合は、その旨詳細を記載してください。

《申し込み方法》

I、IIのいずれかの方法で申し込んでください。

I 窓口申し込み

申請書自動発行機(第2講義棟正面入口左手)で手数料の申請書を購入後、必要事項を記入し窓口へ提出してください。その場で発行します。

※窓口・申請書自動発行機 受付時間

平日 9時～17時 土曜 9時～13時

II 郵送申し込み

証明書申込用紙(同窓会ホームページに掲載されております)と手数料・郵送料相当分の切手を同封の上、下記の宛先へ申し込んでください。ホームページ閲覧できない場合は下記の事項を記載した用紙をご用意ください。返信用封筒は必要ありません。①請求日②卒業学部・学科又は研究科③卒業年月④在学時の学籍番号⑤氏名(ふりがな)⑥生年月日⑦現住所・電話番号⑧証明書の種類・通数⑨厳封の有無と封入方法

申し込み時に手数料の納入が必要となりますので、電話・Eメールでの申し込みはできません。返信用郵送料は下の表を参考にしてください。返速達での郵送を希望する場合は、速達料金(270円)をご用意ください。

厳封なし	153枚	458枚	9510枚
厳封あり	80円	120円	140円
	140円	160円	200円

なお、申込書を投函してから証明書が手許に届くまで1週間程度の日数を見込んでください。

【宛先】

〒357-18555 埼玉県飯能市阿須698

駿河台大学教務課○学部担当

※封筒に「証明書申込書在中」と朱書きしてください。

一 同窓会事務局 からののお知らせ

同窓会事務局では、

- 1、会員の住所管理
 - 2、同窓会報の作成・発行
 - 3、同窓会ホームページの管理
 - 4、資金管理
 - 5、総会・懇親会の運営
- 等の業務を行っています。これらの業務に関連して、次の方は事務局にご連絡ください。

- 1、住所・氏名に変更があった方
- 2、同窓会報に寄稿したい方
- 3、支部会を組織したい方

特に1の住所・氏名の変更がございましたら、連絡をお願いします。(同窓会ホームページから変更できます)

〒357-18555 埼玉県飯能市阿須698

駿河台大学同窓会事務局

☎0429-7211101

☎0429-7211149

✉dousou@surugadai.ac.jp

一 同窓会役員会報告

8月30日(土)に駿河台大学第2講義棟12階会議室において、同窓会役員会を開催しました。議題としては、「同窓会名簿について」「ホームカミングデーの開催について」「同窓会奨学金について」等です。

同窓会名簿については、同窓会活動の情報の基盤という位置づけで、今年度中の作業開始を目標に、データ収集・管理、名簿の形態、販売方法等の大枠について審議しました。ホームカミングデーについては、昨年同様、講演会と懇親会の2本立てで行うことになりました。同窓会奨学金については、選考スケジュール(9月下旬公募開始予定)を検討しました。その他、総会時に会員より意見が出された、準会員である現役学生に対する貸与奨学金の創設を始めとする大学へのサポート方法についても議論されました。

この中で、特に名簿作成については、会員の皆様にご協力いただかなければなりませんので、詳細がまとまり次第、ご通知いたします。